

「芸術文化と生涯学習～オペラ絵本からの考察～」

加賀誠二

2017年7月31日

## 目次

I. 研究の目的	p.2
II. 研究方法	p.2
1. オペラ絵本から見る芸術文化	
2. オペラ絵本から見る生涯学習	
3. 実践からデータを得る	
III. 研究の実践	
1) 資料収集	p.3
2) オペラ絵本ができるまでの工程	p.5
3) 民話から台本を創るのも生涯学習	p.5
4) オペラ絵本から見る芸術文化	p.6
5) オペラ絵本から見る生涯学習	p.9
6) オペラ絵本活動内容	p.10
7) アンケート集計からオペラ絵本の評価を見る	p.12
8) 分析作業の状況	p.16
9) 結果	p.19
IV. 「オペラ絵本」制作マニュアル（付属）	p.21
はじめに	p.21
1) 発起人は妄想をする。	p.21
2) 一緒に学習をする仲間を集う	p.21
3) 生涯学習施設との連携を模索する	p.22
4) 各分野の学習成果を妥協なく確認する	p.22
5) 学習発表にあたり技術系の専門知識を学ぶ	p.22
6) これまでの学習を振り返り PDCA を行う	p.22
7) 学習成果発表の準備	p.23
8) この学習を継続する為の PDCA を行う	p.23
9) 生涯学習成果と課題をまとめる	p.23

## I. 研究の目的 Plan (計画)

市町村長部局や教育委員会は、劇場法の主旨の理解をされていますが、「地方自治法第 244 条の 2 第 3 項」において劇場・音楽堂等を含め、生涯学習施設・社会教育施設等の指定管理者が選任されたところでは、異業種からの転職者が施設スタッフとして雇用されています。その場合、劇場・音楽堂等を含め、生涯学習施設・社会教育施設等とは縁もゆかりもないスタッフが、「劇場法」や「生涯学習」を理解するにはそれ相応の研修が必要となります。その様な環境下でも、「オペラ絵本」の鑑賞を容易にできる環境を整えるために必要な仕組みづくり等を創出することを目的とします。

## II. 研究方法

芸術と文化の違いは歴然としており、質の高い芸術に触れることで情操が高まり豊かな心を育むと言われていています。生涯学習を通して芸術に触れ、体験し学び成果発表として文化に慣れ親しむことができ、健康で豊かな心と明るいまちづくりが振興できます。

### 1. オペラ絵本から見る芸術文化

オペラ業界の考察からはじめます。

オペラを専門とする芸術団体が、人口減少に伴う 20 年後、30 年後をどのように見据え運営をしていくのだろうか。オペラ鑑賞者は「60 歳以上」と高齢化が進んでおり、20 年後にはオペラ鑑賞者は大きく減少すると考えられます。劇場法をどのように受け捉え、どのように役割を果たすことが求められているのかをすることで、子どもをターゲットとした「オペラ絵本」を長期計画にて劇場、生涯学習施設にて開催を継続することは可能かを調査します。

### 2. オペラ絵本から見る生涯学習

オペラ絵本を開催するにはどのような心構えと準備が必要なのか、また、指定管理による生涯学習施設では、指定管理者が任期満了をもって交代した場合でも、オペラ絵本を継続することが可能なかを調べます。また、「子どもの貧困」課題を視野に入れた場合、どのような運営方法、整備が必要なのかを調査します。

### 3. 実践からデータを得る

- ・指定管理者が管理運営する施設における事業等を、インターネットで調べます。
- ・市町直営の施設における事業等をインターネットで調べます。
- ・オペラ等実演団体の活動を、インターネットで調べます。
- ・読み聞かせ団体の活動において、音楽を融合している事例をインターネットで探します。
- ・芸術団体から見る「子どもの貧困」問題の対策。

- ・地域の劇場・音楽堂等を含め、生涯学習施設・社会教育施設等から見る「子どもの貧困」問題の対策
- ・施設管理者（指定管理者含む）、芸術家、地域ボランティア（読み聞かせ団体等）と実現に向けて話し合う場を設け、アイデアを出し合います。
- ・話し合いを基に、実際に「オペラ絵本」の事業計画書、収支予算書を公民館を想定し書いてみます。
- ・実際に定評のある絵本に、オペラ又はオペレッタ風に曲付けをします。
- ・試行的に「オペラ絵本」を生涯学習施設にて試演し、子どもたちの反応を見ます。
- ・波及効果があり普遍性がある仕組みを整備することが出来るかを研究し、「オペラ絵本」制作マニュアルを作成します。
- ・「オペラ絵本」の鑑賞を指定管理者が交代しても、実行できる環境を整えるために必要な仕組みづくり等をまとめます。

### Ⅲ. 研究の実践

#### 1) 資料収集

指定管理者が管理運営する施設、市町直営の施設における事業等を調べても「オペラ絵本」と同等の内容は見当たらないが、大学の図書館において実施された、読み聞かせ団体の活動において、絵本と音楽が融合している実例を、インターネットで見つけることができました。

※参考資料 「学校法人中国学園 中国学園大学 中国短期大学」(図書館) ホームページより引用

『えほん講座 No.19「オペラの楽しみ方(2)ーオペラになった絵本ー」を開催しました!』

平成 26 年 7 月 30 日 (水)、えほん講座 No.19 を開催しました。「オペラの楽しみ方(2)ーオペラになった絵本ー」という演題で、中国短期大学教授・エクステンションセンター所長の日高好一先生にお話と歌で楽しく講演していただきました。

オペラになった絵本「夕鶴」や「ヘンゼルとグレーテル」のお話、先生のおもしろい体験談などに加え、本学卒業生の畠山勝子さん(くらしき混声合唱団・専属伴奏者)のピアノ演奏に合わせた日高先生の歌声は、コンサートホールにいるようで鳥肌が立ちました。

そして、本学卒業生で、ピアニスト&FM くらしきパーソナリティの朝田恵利さんは、棒を叩いて順番に音を鳴らす「ブームワッカー」という楽器や、音楽療法にも使われる「トーンチャイム」を用いて、みなさんが参加して曲を作り上げる遊びを伴奏付きでしてくださいました。日頃なかなか出会えない音楽遊びに会場は大盛り上がり!最後は絵本「泣いた赤鬼」の朗読を、朝田さんの読み聞かせと日高先生の歌で交互に聞くことが出来、内容盛りだくさんの講演となりました♪



図書館にてオペラになった絵本のお話から始まり、「泣いた赤鬼」の絵本を広げ、演奏をする取り組みは、少人数でコンサート形式にて少ない経費で実施できる良い事例です。「泣いた赤鬼」は既存の楽譜もあり、子どもが合唱のパートを歌うこともできる構成となっており、とても良くできた作品です。予算が無い公民館や、まず初めにオペラ絵本にとりかかるにあたり、参加された市民がどのような反応を示し、どのような客層に効果があり、どのような展開を示していけるかなどを考査する題材としてふさわしい作品です。また、「魔王」という絵本にも既存の作曲された楽譜があります。

地域の劇場・音楽堂等を含め、生涯学習施設・社会教育施設等において、気軽にはじめることのできる「子どもの貧困」問題の対策としても有効な手段であると考えられます。

文部科学省の新学習指導要領では、変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な力を「生きる力」とし、その生きる力とは、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」としています。貧困な家庭であっても、負の連鎖を断ち切るキッカケを、こうした「オペラ絵本」の生涯学習要素をもって、創出することが現代社会の課題解決に繋がると考えられます。

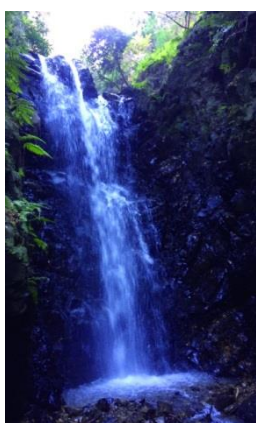
<参考サイト>3keys「データで見る子どもの貧困と格差」

『日本の子どもの6人に1人は「貧困状態」』<http://3keys.jp/state/>

このような調査を参考に、今回の研究テーマには、その地域に伝わるよう民話を題材とし実際に行われた、オペラ絵本「かすみの溪の一助」制作を通して情報収集を行いました。

## 2) オペラ絵本ができるまでの工程

- ① 民話 学識者と役場と協働し、民話の信憑性を高める
- ② 台本化 調べ上げた情報を基に、その民話を物語に仕立てる
- ③ 絵本化 最低限の範囲で、必要な挿絵場面を議論し、子どもに物語が伝わるようにする
- ④ 作曲 BGMはもちろん、弦楽器、オペラ歌手による質の高い演奏が、心に残る様にする
- ⑤ オペラ絵本が完成 オリジナルマスキングテープ、DVD、楽譜、台本、絵本販売



西暦 1600 年頃に起きた岐阜県揖斐郡池田町に残る災害の歴史と、それにつわる伝承を、子ども達に継承することで、ふるさとを愛する心を宿すことを目的とし、地元に住する学識者、役場職員の学芸員から台本となる資料や情報の収集を行い、これを台本作家が台本化したものをベースに、郷土愛を持つイラストレーターが絵を描き絵本が完成する流れで行われました。

また、同時に台本化したものベースに質の高い作曲家が、物語の情景や想い、語り継ぎたいふるさとへの心情を綴り、楽譜が完成しました。ここまでは文芸としての役割となります。

「小僧ヶ滝」写／池田町オペラに親しむ会

## 3) 民話から台本を創るのも生涯学習

このオペラ絵本では、どの地方にもいくつかの民話が残っており、これを継承することはふるさとを守る活動とも言い換えられ、世代を超え3世代をまたぎ親から子へ、祖父母から孫へと語り継がれてきた民話は、現代の情報社会から逆行するかのごとく忘れ去れてしまう傾向にあります。今の子ども達は「外で遊ぶ」ことが無くなり、遊びから多くのことを学ぶはずであった時期に、学校と宿題、塾、ゲーム等に追われる生活を続けるうちに、いつしか都会の子どもばかりでなく田舎の子ども達も同様に、自然の中で学ぶことなく教科の学習をするようになってしまいました。子どもの日に愛知県半田市内の施設内で、子どもにカブトムシの幼虫をプレゼントする企画を実施したところ、男の子、女の子ともに、ほとんどの子どもは「いない」と言います。自然の中で遊ぶことを知らなくなった現代の子ども達は、虫と戯れる機会をなくし、命の大切さを学ぶこともなくなってくるのではないかと感じます。ゲームのように人をあやめる少年のニュースが後を絶たないのも現代社会における課題のひとつとも言えます。このような現代の子ども達に風化する民話を形とし、後世に語り継がれ郷土愛を育てるにはどうしたらよいのか、それには、読み聞かせの要素を活かし、親子が一緒にふれあい、お話を通して情操を高める場を提供することのできる絵本として残すのが一番良いのではなかろうかと考えられます。

民話の絵本は、まちの財産となります。どのまちにも民話の本が歴史として残されてお

り、それは決まって、どれもとても短い文章で言い伝えられています。しかし、実際にその石碑や祭られている祠を調査しても、今となつては深く言い伝える人さえ見かけなくなり、町民すべてがこのお話を知っているとは言い難い状況でした。情報を集めるにあたり学識者、役場の学芸員の知識から学びました。また、その民話には、その時代背景、季節、感情をうかがい知ることが出来ない内容となっており、これをオペラ絵本の台本として使用するには脚色する必要があります。そこで、脚色するに当たりその地域にまつわるその当時の歴史を探る必要があります、これを教育委員会の学芸員よりその時代の地図や藩主のお話を教えて頂き、その土地の災害記録等の資料を基に、構想を練り込み、伝承が実話であったのではないかと確信を感じながら物語になっていきます。作品を作る側もまた、このような生涯学習を経てひとつの学びの成果を形にし、それを町民に教える立場となる循環を見ることが出来ます。

<参考ホームページ>揖斐郡池田町／

『桜の名所 震間ヶ溪』 <http://www.town.gifu-ikeda.lg.jp/kankou/0000000572.html>

『鎌ヶ谷から震間ヶ溪へ』 <http://www.town.gifu-ikeda.lg.jp/kankou/0000000577.html>

#### 4) オペラ絵本から見る芸術文化

##### ①オペラ等実演団体の活動をインターネットで調査する

公益財団法人東京二期会 <http://www.nikikai.net/index1.html>

公益社団法人関西二期会 <http://kansai-nikikai.com/>

一般社団法人名古屋二期会 <http://www.nagoya-nikikai.jp/>

公益財団法人 日本オペラ振興会 藤原歌劇団 <https://www.jof.or.jp/>

「音楽の専門家は絶滅危惧種？」

現代の子ども達が音楽専門家を志す進学先として、音楽高校、音楽大学、音楽専門学校、音楽留学とこれまでの音楽家への道に進む子どもが少なくなってきました。これはバブル経済破綻から顕著に現れてきました。もともと、裕福な家庭のお子様が進む道と言われており、経済的に恵まれない子ども達が進める道ではありませんでした。岐阜県では3つあった高校の音楽科は、2校が廃科となり、今では岐阜県立加納高等学校音楽科しかありません。バブル時期には3校共に定員を大きく上回る受験生でにぎわっていましたが、近年の岐阜県立加納高等学校音楽科は定員を割ることが知られています。それに伴い、音楽大学への進学も極端に減り、日本の3芸大と言われる愛知県立芸術大学ですら、バブル時期の面影もなく、試験内容も当時に比べるとレベルが低くなり、それでも定員に達するのがやっとと聞きます。音楽大学や音楽専門学校で声楽を専門に学び卒業した者が次に進むステップとして、オペラ団体がありますが、現代では音楽大学からばかりでなく、一般大

学からも入ってきていると聞きました。総合芸術と言われるオペラを専門とする団体の会員数が減ること同時に、人口減少、少子化がさらにこの専門分野の存続を左右する時代に突入したと考えられます。

さて、オペラを専門とする芸術団体が人口減少に伴う 20 年後、30 年後をどのように見据え運営をしていくのだろうか。オペラ鑑賞者は「60 歳以上」と高齢化が進んでおり、20 年後にはオペラ鑑賞者は大きく減少すると考えられます。創る側と観る側、双方が減少する中でこの専門分野はどのようにこの時代を迎え入れ、役割を果たしていくのが課題となります。そこで、国の法律である「芸術文化基本法」と「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（通称「劇場法」）」をどのように受け捉え、オペラ団体がどのように役割を果たすことが求められているのかを考え、知ることによってこの苦境を乗り越えようとする関西二期会事務局長に、子どもをターゲットとした「オペラ絵本」を長期計画にて劇場、生涯学習施設にて開催を継続することは可能かを聞きました。

## ② 関西二期会事務局長との会談から「オペラ絵本から見る芸術文化」

20 年後、30 年後と時代の流れと共にオペラ鑑賞者は「60 歳以上」と高齢化が進み、20 年後にはオペラ鑑賞者は大きく減少すると考えられます。まだ劇場に足を運んだことの無い国民を対象に創客を行うことで、オペラファンを育てることが目標となっています。また関西二期会は公益社団法人として若手育成、子どもの育成にも力を注いでおり、普段は日本を代表する質の高いオペラ公演の舞台を制作するオペラ団体です。常に質の高い舞台を創り、お客様と歌手と舞台を支えるスタッフが満足できる舞台を創り上げることで、オペラファンを増やし、心豊かな情操を育むキッカケとなることを心がけられ、「オペラの制作にかかる経費は家を一軒建てることのできるほどです。出演するオペラ歌手たちの稽古に関する拘束時間、オーケストラの稽古に関する拘束時間と費用。また、これらを指導するマエストロの拘束時間、費用、スケジューリングは、比例して多くなり総じて経費も高くなる」と語られました。ゆえにお客様が質の高いオペラを鑑賞するには、それなりの鑑賞料金となり、1 万円前後となるのもうなずけます。単純に、オペラの制作費÷ホールの客席数にて事業収支が見えてくるのです。

オペラ公演では、音楽以外にも大道具、小道具、舞台衣装、舞台美術、舞台照明と多くの芸術分野がひとつになっており、それが総合芸術と称されるゆえんです。オペラ絵本は、これらを絵本として 1 冊にまとめることができているとお話し下さり、まさにその通りであると共感しました。子どもの目線、視野から観る紙芝居は脳裏いっぱい広がることで、大人が劇場で観る舞台と同様に感じられるのではないかと考えます。

しかしながら、オペラ絵本を芸術団体が事業として手掛けるには経費的に難しいようです。芸術団体としての質を下げられないこと、歌手を派遣するにあたり出演料を支払わなければならない、参加費無料ではできないことなどがあげられました。では、オペラ公演とオペラ絵本ができあがるまでの制作日数や必要経費を比較してみます。



③ オペラ団体が催す「オペラ公演」と地域で創る「オペラ絵本」の比較

比較項目	オペラ公演 ※演目により各項目に誤差がある	オペラ絵本 ※演目による誤差は少ない
出演者拘束時間	約3ヶ月～6ヶ月	約1ヶ月
制作時間	約1年～2年	約1年2ヶ月
音楽稽古時間	オペラ歌手 約3ヶ月 合唱団 約6ヶ月 合同練習 約1ヶ月	オペラ歌手 約1ヶ月 合同練習 約1日
舞台稽古時間	2ヶ月	無し
鑑賞者層	広範囲から来る 未就学児はご遠慮頂く	その地域の方が来る 特に入場制限は無い
鑑賞時間（公演時間）	作品によりますが90分～3時間程あり、見応えがある	20分～60分なので気軽に観ることができる
鑑賞場所	・1,000席以上の大劇場 ・舞台芸術、空間芸術を満喫できるが、2階、3階席ともなると、オペラグラスが必要となる	・定員100名程の大会議室 ・会場が一体感に包まれ、演奏家の息遣いまで聴こえてくる
鑑賞者の満足度	鑑賞料金の対価と、自分にとって鑑賞料金に値する公演であれば満足する	地域にまつわる伝承が題材であることと、出演者と近い距離にあることで、より満足度が高い
事業実行の難易度	・専門性を要するので難易度は高い ・音楽、語学、制作、事務、地域連携、資金確保	地域の音楽専門家が制作をすることが可能であり難易度はそれほど高くない
出演者の満足度	オペラ団体の役付きはオペラ歌手にとって肩書となる また、優秀な指揮者、演出家、オーケストラ、出演者らの中でひとつの作品を勉強し成功を収めることで大きな満足度を得られる	間近でお客様の反応を見ることができ、己のレベルを知ることができ、お客様の満足した顔を見ることができると、出演者は満足度が高くなる
制作費	演出家によって大きく差異がでるが、「家一軒分」～「家一軒+土地付」が目安	地域にお住まいの出演者・スタッフ関係者の、地域に対する郷土愛、恩返し、感謝、還

		元といった高い志がある方なら経費も抑えられ、オペラ公演に比べると 20 分の 1 以下で制作が可能
地域文化振興貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い芸術を国民が鑑賞していただける機会を創出することで、大きな貢献をしている。</li> <li>・関西二期会のオペラ公演用チラシ・ポスターには、専門学校との協力によりチラシ・ポスターデザインを起用することで、若手育成にも取り組んでいる。</li> <li>・芸術鑑賞としての学習要素が高い</li> </ul>  <p>関西二期会 第88回オペラ公演 ドイツロマン派 珠玉の名作 オペラ 魔弾の射手 2017.10.28(土) 4:00PM / 29(日) 2:00PM 兵庫県立芸術文化センター KOBELO 大ホール</p>	<p>地域にまつわる伝記、伝承を後世に伝えることにできる作品をパッケージ化することができ、いつでも再演できる環境にある。誰でも動画を見ることができ、環境を整うことで、オペラ公演ほど広範囲での地域文化振興は望めないものの、その地域においては大きな貢献になる。</p> <p>昔話などその地域を伝承する継承者の代わりとなり、地域課題における生涯学習要素が高い</p>  <p>子どもと楽しむ ちよつと贅沢なオペラ絵本 かすみの溪の一助 監 修：丸山 幸太郎 構 成：西田 光博 脚 本：丸山 幸子 作 曲：野山 幸子 イラスト：坪井 繁和 出 演 者：鈴木 雅彦、加賀 誠二、太田 再見 兵庫県立芸術文化センター 絵本家団：久野 勉美、田中 佐未子、田中 翔一 日 時：2017年3月4日(土) 14:30開演、15:00開演、17:00開演予定 公演内容：第1部 鞍馬 鞍馬方松子(メゾ・ソプラノ)、鈴木雅彦(ソプラノ) 第2部 オペラ絵本「かすみの溪の一助」 公演会場：岐阜県岐阜市津島町 公民館 大会議室 岐阜県岐阜市津島町 電話：0582-410511 入 場 料：大人 500円、中学生以下 300円 (岐阜県立美術館 企画展 特別展) チケット販売：岐阜県岐阜市津島町 公民館 お問い合わせ先：0582-2929-0150 各席</p>
出演者数+スタッフ数	100 人前後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低遂行人数 1 名</li> <li>・当オペラ絵本では 18 名</li> </ul>

芸術振興を責務とする芸術団体とオペラ絵本は、どちらも質の高いオペラ歌手が歌うのであれば、少々乱暴ですが鑑賞したお客様の満足度はどちらも似ていると言えるのではないのでしょうか。オペラ公演は専門性が高く、費用も時間もかかりますが、オペラ絵本は費

用も時間も少なく実現できるのが大きな差と言えます。費用面を除くとオペラ絵本を芸術団体が担うのは創客にも繋がり、費用対効果を考慮することで、実現の可能性があるのではないかと考えられます。

この調査から、芸術文化の視野からも子どもをターゲットとした「オペラ絵本」を長期計画にて小劇場、生涯学習施設をはじめとする社会教育施設にて、開催を継続することは可能であると判断できるのではないのでしょうか。

## 5) オペラ絵本から見る生涯学習

オペラ絵本を開催するには、どのような心構えと準備が必要なのか、また、指定管理による生涯学習施設では、指定管理者が任期をもって交代した場合でもオペラ絵本を継続することが可能なかを念頭に、「子どもの貧困」課題を視野に入れ、子どもが校外で芸術体験を通して「生きる力」を育くには、どのような運営方法、整備、連携が必要なのかを調べます。

岐阜県立池田高等学校演劇部有志は、人口約 24,000 人のまちにあり、その高校の演劇部は全国の演劇大会でも名を連ねる強豪校として知られている高校です。その演劇部にこのオペラ絵本を語り継いでほしいだろうかといった安易な気持ちで、「一緒につくってみませんか？」と顧問の先生に



持ちかけたところ、有志を募ってみますと暖かいご返事をいただき、3年生を中心とした7名が集まってくれました。地元の学生が地元の題材に触れ、芸術家とそのたまご達が一緒に同じ作品に触れ、共に共感し合い舞台を創り上げることができるのは、貴重な体験とも言えます。彼らには「俳優になりたい」、「声優になりたい」などの夢に満ち溢れた目をもっており、台本を本番 2 日前に顧問から渡されたとは思えない程の出来栄え、しかも稽古を重ねるごとに役作りを明確にし、周りの役との立ち位置をも考慮した言い回しをする姿は、圧巻でした。さすが全国大会出場校です。そんな彼らもオペラ歌手の声を目の前で体感し、目を点にしている姿が印象的でした。同じ舞台芸術の分野にて演劇を専門として学んでいる彼らも、音楽芸術に触れる機会がなかったのか、良い刺激になったことが、出演者も共に舞台を創ることができ嬉しい様子でした。そんな彼らとの 1 日は、一生の思い出となるとともに、彼らがいずれ芸術家や先生となり、子ども達を教え育てる循環型の環境が生まれることが想像できました。このことは彼らが学校から離れ、地域の生涯学習施設で学ぶことができる生涯学習の一つの事例としても取り上げることができると言えます。

<参考ホームページ>岐阜県立池田高等学校 / <http://ikedadrama.sensyuuraku.com/>

## 6) オペラ絵本活動内容 Do (実行)

日程	オペラ絵本『かすみの溪の一助』事業内容
2016年	
1月	脚本構成依頼に立ち会う
2月	制作会議、脚本構成あらすじ確認作業に立ち会う
6月8日	制作会議、各方面へ制作・演奏の依頼に立ち会う
9月4日	制作会議、台本確認に立ち会う
9月14日	台本完成、作曲依頼、イラスト依頼
11月21日	制作会議、絵コンテ確認
12月28日	制作会議、作曲仕上がり
2017年	
1月	公演チラシ配布
1月31日	制作会議
2月16日	イラスト仕上がり
2月26日	制作会議
3月3日	出演者稽古、舞台仕込み作業
3月4日	オペラ絵本『かすみの溪の一助』公演（中公民館大会議室） 15:00 開演 入場料：大人 500 円 中学生以下 300 円 来場者数 81 名（大人 58 名、中学生以下 23 名） 出演者（オペラ歌手、質の高い声楽家含む）・スタッフ数 19 名

### ① 制作期間からみる指定管理者の役割

こうしてみると、約1年間の制作期間を経て作品を鑑賞していただけるまでになっています。この期間、スタッフらは経費の事情にも異なりますが、おおよそボランティアで活動することとなります。指定管理者として共催するのであれば、この制作過程における会議場所の提供と、ボランティアスタッフと共に会議に参加し、コーディネーター的な立場をもって、アドバイスができる環境を整えることができると、最適であると言えます。また、共催ということで、会議室の利用料金は無償で提供することが望ましいです。フライヤーが出来あがると、指定管理者が方々の広報を担当し、受付にてお問合せ窓口、チケット販売窓口となることが望ましいです。また、オペラ絵本本番当日は、会場整理や備品貸し出しなどを積極的に行う事で、ボランティアスタッフ達と友好的な関係を保つことができます。

指定管理者として行うことは、会議室、本番時の会場費免除、宣伝広報、備品貸し出し、できる範囲のお手伝いになります。おそらく、このような事業を体験したことのない指定管理者の長は、何が起こるかわからないし、どれだけのリスクを強いられるのか、人件費がどれほどかかるのかなどと考えてしまいがちです。よって、オペラ絵本を指定管理者と

一緒に行うことは、その地域の指定管理者の長次第となります。

また、そこまで大きなものにするのではなく、音楽専門家達が、当日だけやってきて図書館やロビーなどを借りて、オペラ絵本を開催するということであれば、指定管理者の負担も大幅に軽減されます。チケット販売もなく無料での鑑賞であればなおのこと、公民館でも開催できる可能性が高まります。

## ② 実際のオペラ絵本上演資料

本番会場として選ばれたのは、岐阜県揖斐郡池田町中公民館大会議室。80人の鑑賞者が入るのがやっとのスペース。前列のパイプいす前には、小さな子供たちが座布団の上に座って鑑賞しています。絵本は、1ページがA4横の見開きタイプです。どこに挿絵を入れるかをスタッフで話し合いましたが、絵の数を極力少なくしてもらったので、とても時間がかかりました。絵本を製本する会議をしたときに、ネットなどで絵本形式にて発注しようとネットを検索すると、桁違いの製本費見積りがでてきて、スタッフ一同目が点となりました。結局、1枚のA4両面印刷を多数発注し、ホッチキスで留め、製本テープを背に貼り完成となりました。質は低いが達成感が高い。誰でも上演できるようにと、絵本とカラオケCDや楽譜と文化GDP（文化芸術資源を活用した経済活性化）を鑑みてオリジナルマスキングテープを販売用に用意しました。

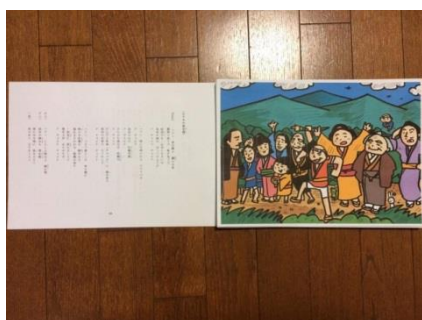
第1部では、イタリアから一時帰国したメゾ・ソプラノ歌手によるアリア歌唱をお聞きいただき、第2部にオペラ絵本上演を致しました。



※第1部メゾ・ソプラノ歌手独唱



※絵本投影と歌手（右手側）



※完成したオペラ絵本

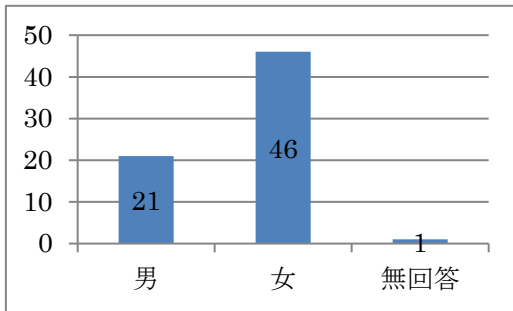


※オペラ絵本の実際の様子（大会議室にて）

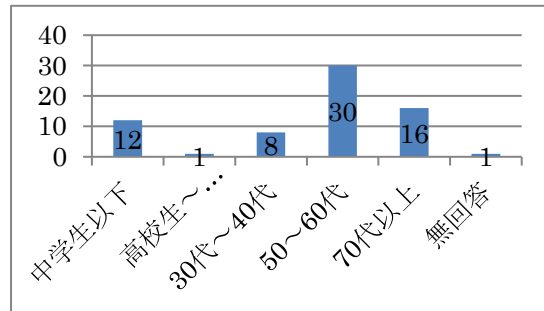
写／池田町オペラに親しむ会

7) アンケート集計からオペラ絵本の評価を見る (n=68) Check (評価)

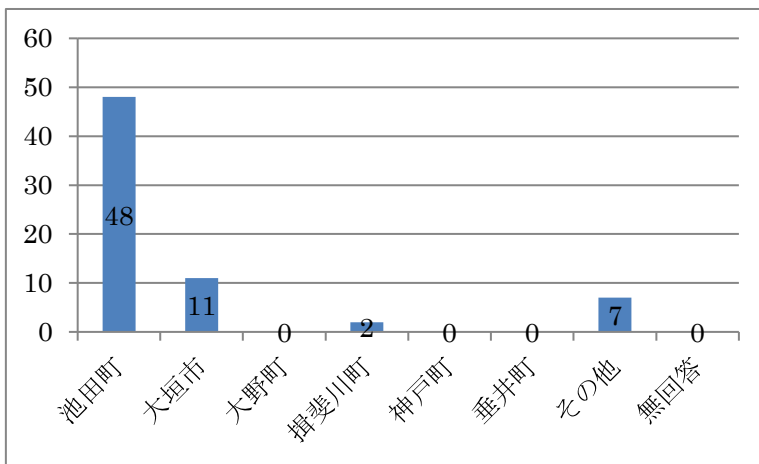
① あなたの性別は



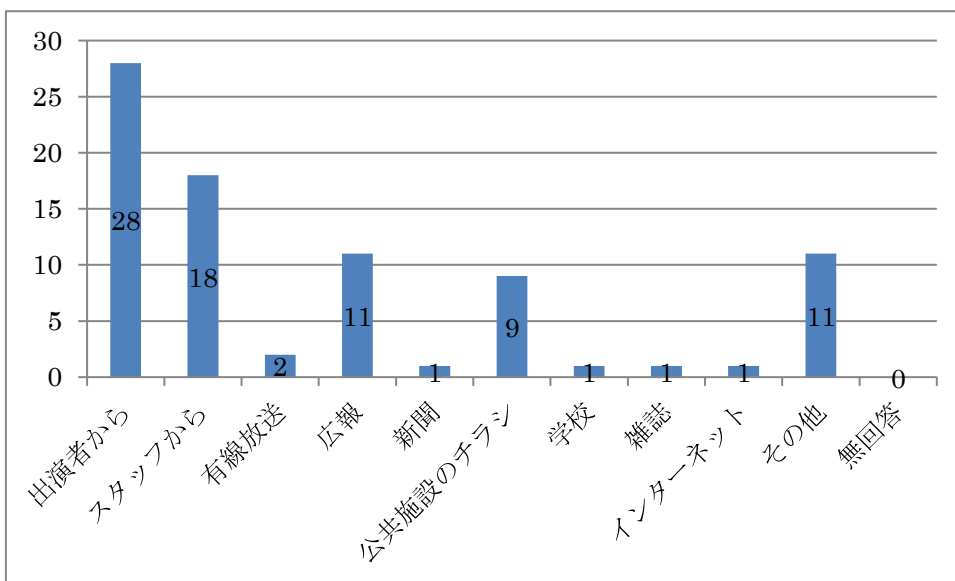
② あなたの年代は



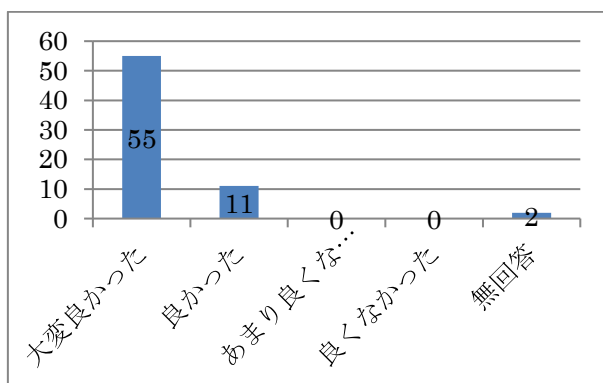
③ どちらからお越しになりましたか？



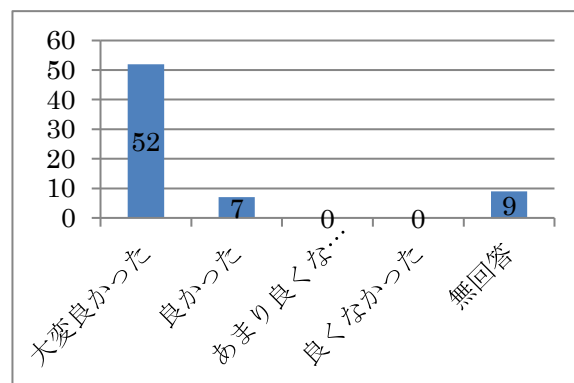
④ この演奏会を何でお知りになりましたか？(複数可)



⑤ 第1部独唱はいかがでしたか？



⑥第2部オペラ絵本「かすみの溪の一助」  
はいかがでしたか？



◆感想、印象に残ったシーン、他お気づきの点など、なんでもご記入ください。

- ・ 村人が石を積むシーン。石積みが完成し、村人が喜んだ。一助は死んでいない。最後の托鉢のシーン(一助)。(男性 50～60代 池田町)
- ・ 第1部は一流の音楽会でした。歌の解説がわかりやすくされてから聴けると良かったのではないのでしょうか。桜井さんの声量と声の魅力に圧倒されました。一助物語は、よくまとまって圧巻でした。感動のオペラ絵本です。春の梅、秋の黄金風景がほしかった。(男性 70代以上 池田町)
- ・ すばらしい歌声をありがとうございました。この様な形でオペラが楽しめる事を初めて知りました。池田高校の生徒さんを含めすべてのスタッフの方に感謝！！ありがとうございました。これで終わりとは残念。もっと多くの人達に見てほしいですネ！（女性 70代以上 池田町）
- ・ 声量が凄く素晴らしかった。一助の物語もわかりやすく良かったです。音楽と絵本大変良かったです。(女性 70代以上 池田町)
- ・ この力作涙が出ました。これをもって終わりにするのはとても残念です。再度上演していただくと嬉しいです。(女性 70代以上 池田町)
- ・ オペラ絵本大変よかったです。(女性 70代以上 池田町)
- ・ 孫と共に見聞きました。とても良かったです。このままなくなる事は残念です。ありがとうございました。(女性 50～60代 池田町)
- ・ とても上手だった！（女性 中学生以下 池田町）
- ・ 最後の公演と聞いて、とても残念です。もっともっとこういう機会があったらなど…。素晴らしい歌声をありがとうございました。(女性 50～60代 池田町)
- ・ 池田の古い話を楽しく見せていただき有りがとう。(女性 70代以上 池田町)
- ・ 池田高校の子の演技もとても良かったです。声の出し方があっていました。オペラ歌手の人の声は、またまたステキで、やっぱり違うと感じました。最後の一助が死んだといった場面は涙が出てきました。本当にステキなものを見せていただき、ありがとうございました

- ました。(女性 50～60代 池田町)
- ・ 心に残る演奏会でした。本格的な演奏会、新しいオペラ構成素晴らしかったです。又、公演していただきたいと思います。プロの人と高校生、貴重ですね。(女性 50～60代 池田町)
  - ・ 桜井さんがとても良かったです。素晴らしい皆さんの演技が良かったです。池田高校の皆さんすばらしかったです。ブラボー！！(女性 70代以上 池田町)
  - ・ とてもすてきな時間を有りがとうございました。皆さんに感謝です。(女性 70代以上 池田町)
  - ・ 言い伝え話、民話など、オペラになると感動凄いものになると知りました。(女性 大垣市)
  - ・ 3人が高い声と低い声に分かれて歌うところがとてもきれいで印象に残っています。(女性 中学生以下 池田町)
  - ・ 「かすみの溪の一助」ともよい話でした。来てよかったです。(女性 高校生～20代 池田町)
  - ・ 身近な話で、楽しかった。(男性 50～60代 池田町)
  - ・ 昔話もオペラにするととても心にひびきました。(女性 50～60代 池田町)
  - ・ 初めて参加したが、これで最後とは残念です。別の機会を楽しみにしています。(男性 50～60代 池田町)
  - ・ 歌う時の表現と高低の歌声の差に驚き！初めて参加しましたが感動しました。ありがとうございます。(男性 50～60代 池田町)
  - ・ 素敵なお町の一面を堪能させて頂きました。(女性 50～60代 愛知県)
  - ・ ご苦労様でした。本当に永い間。(男性 50～60代)
  - ・ 私事ですが、昨年手術療養して、今年からはこういう会に参加しようとした。初めての参加でしたが、最後と聞き残念に思いました。どの演目もすばらしく、楽しく観させていただきました。皆様これからもご活躍ください。(女性 50～60代 池田町)
  - ・ 生の声楽を聞く機会はなかなかないので、今日は大変幸せな時間をありがとうございました。(女性 70代以上 池田町)
  - ・ 画面を通じてしか鑑賞したことがなかったオペラを初めて生で味わいました。大変良い思い出となりました。初めての歌劇でした。大変良かったです。(男性 70代以上 池田町)
  - ・ 手に届く距離で生のオペラ独唱をきけてとても感激しました。オペラ絵本も見応え聞き応えありました。幸せな2時間をありがとうございました。(女性 50～60代 大垣市)
  - ・ 第2部は心を打つ内容で、とても良かったです。プロの歌声が魅力がありとてもよかったです。(男性 50～60代 愛知県知多郡武豊町)
  - ・ すごく良かったです。妹さんを亡くした一助のうたが泣けました。池田高校のみなさん



- もすごく良かった。ありがとうございました。（女性 50～60代 大垣市）
- ・ 丸山さん、ご苦労様でした。改めて、才能のすごさに感心しました。今後ともよろしく！（男性 50～60代 大垣市）
  - ・ みんながそれぞれの役を精一杯演じていてとてもすばらしかったです。ありがとうございました。（女性 50～60代 池田町）
  - ・ もっと学生さんに聴いてほしいですね。中学生、高校生。（男性 50～60代 池田町）
  - ・ どう言っているのか・・・とても感動感激しました。赤い洋ドレスもとても素敵、全身から声が聞こえてきました。かすみの溪～知りたかったお話でしたので、とても感動しました。実話と思います。（女性 50～60代 池田町）
  - ・ オペラすばらしかったです。最後とは残念です。今まで知らないでいたのが重ねて残念に思います。（女性 70代以上 池田町）
  - ・ とても良かったです。歌とストーリー感動です。（女性 50～60代 池田町）
  - ・ とてもすばらしかったです。最後とは残念です。（女性 70代以上 池田町）
  - ・ 生のオペラを聞き、素晴らしかったです。最後とは残念です。（女性 揖斐川町）
  - ・ とっても良かったです。（女性 50～60代 池田町）
  - ・ 長い間おつかれさまでした。今後形をかえても発展をお祈りしています。（男性 50～60代 池田町）
  - ・ 最後であるのは残念です。とても感動しました。（女性 50～60代 揖斐川町）
  - ・ ピアノの音と声がまじりあい、いいかんじでした。いい話でした。おもしろいところと、かなしいところがあっておもしろかったです。（女性 中学生以下 関ヶ原町今須）
  - ・ 細い体で良い声が出ますね。オペラ、初めて見ました。（女性 70代以上 池田町）
  - ・ とても良かったです。この物語がこれから池田町でうけつがれ、今後もオペラ絵本として、代々残っていくのですね。高校生による演目としても見てみたいです。合唱、吹奏楽、演劇部のコラボ・・・みたいな・・・。（女性 30～40代）
  - ・ すばらしい歌声を本当にありがとうございました。本格的なオペラをきかせていただき、体中で感動しています。池田高生が活躍して下さってありがとうございます。池田町の文化を高めて下さってありがとうございます。（女性 50～60代 池田町）
  - ・ 高校生の方の役、とてもステキでした。ピアノ、バイオリンその他の楽器の音色がとてもシーンにマッチしてよかった。（女性 70代以上 池田町）
  - ・ 池田町藤代にこのような歴史があるとはしらなかったです。勉強になり一日楽しませてもらいました。（女性 50～60代 池田町）
  - ・ 第一曲目でびっくりしました。初めてのことで良かったです。（男性 50～60代 池田町）
  - ・ たのしかったです！！またこの様なものが行われると良いですね。子供がいっぱい来るとよかったなと思います。（男性 30～40代 岐阜市）

- ・ 第1部独唱の音がすごかった。（女性 中学生以下 池田町）
- ・ 第1部独唱の音がとっても高くきれいな声で歌っていたのすごかった。（女性 中学生以下 池田町）

<参考資料>

※「かすみの溪の一助」アンケート集計表より引用

※別添資料

- ・ オペラ絵本「かすみの溪の一助」事業概要参照
- ・ 「かすみの溪の一助」アンケート用紙
- ・ 「かすみの溪の一助」フライヤー

※期間限定 YouTube 記録動画（特定非営利活動法人ぶんかのタネ動画配信より引用）

- ・ 『かすみの溪の一助』 <https://www.youtube.com/watch?v=khZQiC5N1xs&feature=youtu.be>

## 8) 分析作業の状況

### ①作品の様式について

このオペラ絵本は、正式には俗にいうオペラではなく、オペレッタの分野に入る内容ですが、紙芝居の要素、読み聞かせの要素を重視することで、台本をすべて歌にするのではなく、言葉の叙情、間合い、喜怒哀楽を感じやすいセリフとするために、セリフと歌で構成されたオペレッタ形式としています。語呂合わせにてオペラ絵本とすることで、オペラ歌手が歌う質の高いイメージが伝わりやすいので、こちらを使用しています。

### ② アンケート結果からの考査

オペラ公演、ミュージカル公演、コンサート、ロビーコンサートと様々な国民をターゲットとした演奏活動があります。そのアンケート結果を見ても、おおよそ年配者の鑑賞率が高く、年齢が若輩になるほどに少なくなるのが公共施設での数値となります。無論、文化庁の助成金事業である学校公演や講師派遣では、このアンケートの限りではありません。この度のオペラ絵本の事業においては、ターゲットとしていた子どもが少なく、制作意図と異なる結果が出てしまいました。原因を分析すると、周知度の低い演題、堅苦しそうなイメージを持たせてしまい、小学生が行きたいと思えない内容であったこと、また、その保護者らが子どもに鑑賞させたいと思えるようなフライヤーでなかったことにあると推測されます。宣伝方法から見ると、各家庭に配布される広報掲載、有線放送、小・中学校フライヤー配布、近隣公共施設に配置、新聞記事に取り上げられるなど、ほぼ手を尽くしております。その地域の方々はこのフライヤーを目にしたことと察するので、広報宣伝にはさほど要因はないように思われます。

題材として子どもが集まりやすいのは「ヘンゼルとグレーテル」「泣いた赤鬼」などが例として挙げられます。有名な作品ほど集まりやすいが、題材が民話となると、すでに地域住民の脳裏からその民話は消え去っているのか、今後の課題ともなります。

### ③ オペラ絵本の上演スタイル

アンケート結果には、オペラ絵本という手法についての貴重なご意見をいただくことができました。当日は教育長、町会議員、学芸員、学識者、学校関係者と大人が多く、大会議室が狭く感じられましたが、80人程の座席数だからこそ、演奏家の質や人柄も伝わり、プロジェクターで映し出された100インチの絵を見るのも、後部座席からは限界の大きさであるとも感じられました。このアンケート結果を基に、公民館でお借りしたプロジェクターで映し出せる普遍性のある映写幕の大きさ約100インチという環境がオペラ絵本の基準値となることと考えられます。絵本は、パワーポイントに画像を貼り付け、パソコンのマウスで送っていただくだけの簡略な方法で行っております。ゆえに、このような環境が整えば、どの会館でも、どの団体でも民話を題材としたオペラ絵本を上演でき、ある一定の効果を得られることがわかりました。

### ④ 施設の協力

今回は、町の直営となる公民館の大会議室を利用した公演開催でしたが、とても協力的な職員さんがいらっしゃり、チケット販売や問い合わせ窓口までしてくださいました。全国にはたくさんの公民館が存在しますが、ここまで協力してくれる公民館は数えるほどしかないのではないのでしょうか。先日、北海道にてNPO法人の人形劇団が、事業開催を営利として断られ話題になりましたが、このように営利と判断する公民館がまだまだ多いのではないのでしょうか。



### ⑤ 機材の専門性

今回のオペラ絵本事業を経て、会の主催者の事業報告からは、地域での芸術活動の限界があり、大がかりなセット、機材とそれに伴う経費は捻出しがたい状況にあるのが伺えます。また、地方の舞台には照明、音響、バトン等の舞台機構を操作する専門家が常駐しておらず、大きな怪我をすることも予測されます。音響、照明機器に関しても、専門家が使うことを前提とした設備を導入しており、素人では手におえないのが現状です。簡易なPA機材とプロジェクターのみで開催できるオペラ絵本の魅力は、普遍性があり、これからの地方の芸術文化の主流と成り得ます。

### ⑥ オペラ絵本代表者による事業報告から

池田町オペラに親しむ会 代表 石田香里

池田町の伝承「小僧が滝（一助物語）」を音楽劇にし、池田町の音楽財産となるよう、台本・作曲完成を目標としました。2002年にも、この物語は岐阜県教育文化財団等により、オペラ化され公演されました。しかしオペラ公演には、膨大な舞台セットや多くの演奏者、稽古期間が必要になり、このような創作ものに至っては、再演の見通しが立たない、一回

限りの公演であることが殆どです。また当時の公演場所は大垣市であり、池田町の物語を池田町内での思いから、制作・公演を目指しました。絵本の読み聞かせのように、気軽に鑑賞出来、機材やセット、演奏者もコンパクトに、小さな子どもも楽しめ、また再演性を高くする為にはと考えた末に、『オペラ絵本』と言う新しい手法に辿り着きました。民話を基にした台本を脚色依頼し、作曲家には新たに曲を作ってください、イラストレーターの方には絵本風なイラストを描いていただきました。伝承がオペラになるケースは昨今では多数ありますが、このようなオペラ絵本と言う形は画期的で初めてです。また、プロの演奏者だけではなく、地元・池田高校演劇部の皆さんにもご出演いただいたことは、演劇の世界で活躍する高校生自身にとっても大変刺激的な体験だったと感想をいただきました。演奏構成はシンプルでありながら、高クオリティーであり、この機会にもっと多くの町民、特に子どもたちに鑑賞して欲しかったですが、子どもたちからは楽しかったとの声を聞くことが出来ました。中央公民館の大ホールとは違い、演奏者と鑑賞者との距離が近すぎる程でしたが、臨場感溢れる演奏とイラストで楽しんでいただくことが出来ました。平成 28 年度をもって解散致しますが、このような作品を池田町に遺すことが出来、次世代への良い引き継ぎになったのではないかと思います。

※この団体の活動は、現在「特定非営利活動法人ぶんかのタネ」に引き継がれています。

#### ⑦ オペラ絵本レシピ

- ・ 民話
- ・ 民話の調査（学識者、学芸員の協力）
- ・ 台本
- ・ 作曲
- ・ 絵本
- ・ 会議室（ネットワークのフェースブックを使った会議を並行）
- ・ 本番会場
- ・ 施設の協力
- ・ パソコン（ソフト／パワーポイント）
- ・ プロジェクター
- ・ 簡易 PA
- ・ オペラ歌手（質の高い声楽家）
- ・ 読み聞かせを担う方（今回は地元の演劇部有志）
- ・ 電子ピアノ
- ・ その他楽器（協力してくれる周辺音楽の専門家）
- ・ 制作費（対象経費は参考ホームページ第 4 条の別表 2 を参考にしました）

<参考ホームページ> 「公益財団法人みらい芸術・文化基金助成金交付要綱」

<http://www.mirai-geibunkikin.jp/m4.html>



「絵本楽団」  
写／池田町オペラに親しむ会

- ・オリジナル販促グッズ
- ・参考にした原則…地域を変える三原則「ひと」、「もの」、「金」

#### ⑧ 文化庁 GDP からみたオペラ絵本

文化庁の方針に、オリンピックを見越した政策を見ることができます。別添資料には、文化GDPの拡大に向けた取組の方向性について明記されており、インバウンドの増加・地域の活力の創出を掲げ、「具体的な取組・方向性」として、地域における芸術祭などの文化芸術活動や食文化を含めたくらしの文化などの文化資源を掘り起こし、地域活性化につながる文化力プロジェクト（仮称）の全国展開・推奨とあります。オペラ絵本からの文化GDPを望めるかは未知数ではありますが、民話などの題材によっては、地域活性化に繋がる可能性を秘めています。



「マスキングテープ」

写／池田町オペラに親しむ会

※別添資料 『文化芸術資源を活用した経済活性化（文化GDPの拡大）』文化庁GDP.pdf

#### ⑨ 分析総括

地域の音楽専門家が代表となり、制作を担うことでオペラ絵本事業は遂行可能であり、その効果がこの報告にも現れています。音楽の専門家、指定管理者、まちの職員、機材と、多方面から分析し、オペラ絵本は子どもの情操を高める要素を含みます。更に、ふるさとの心を宿し、地域の良さを、民話を通して伝承していくことで、地域の抱える現代社会における課題解決のキッカケとなり、音楽の専門家、施設管理者双方の役割を見出すことができる分野であることがわかります。

### 9) 結果 Action (改善)

生涯学習施設に留まらず、広い範囲の社会教育施設において、このオペラ絵本を指定管理者が管理する物件にて長期にわたり継続が可能かについては、続けて研究をする必要がありますが、公民館において、音楽の専門家、そしてある程度の制作費等の条件が整うようであれば、どの公共施設においてもオペラ絵本の制作が可能であり、上演にて得られる効果は期待できると考えられます。

小学生を対象とするオペラ絵本をつくるにあたり、授業時間を基準にすると上演時間は40分であると考えられます。幼児を対象とするならば、読み聞かせに使用する絵本の長さを参考にすると6分前後、未就学児を対象とするならばプラネタリウム投影時間を参考にすると20分前後であると考えます。今回は60分と長過ぎました。これは大人がオペラや

コンサートを鑑賞する標準的な時間です。しかしながら、オペラの「ヘンゼルとグレーテル」は約70分ですが、子どもは最後まで食い入るように観ることが知られております。何が長いのか、短いのかは、その上演する場所、環境、主旨によって大きく異なることが言えます。オペラ絵本の基準となる時間を、目安として定めることも必要であると考えられます。

音楽の専門家、文学の専門家、学識者、学芸員を、その地域で繋ぐことのできるコーディネーターが不可欠であると感じました。会の代表が若手である場合、何か専門的な能力でまちの役に立ち、子ども達の情操を高めるきっかけになればという思いだけが強く、折角のエネルギーが空回りしてしまいます。指定管理者であれ、市町村の職員であれ、社会教育主事の役割を担う方が、NPO法人や任意団体の協力体制を整える地域連携が、社会教育施設や生涯学習施設には不可欠であることに気が付きます。

今回の調査を経て波及効果があり普遍性がある仕組みを整備する「オペラ絵本」制作マニュアルを作成します。また、「オペラ絵本」の鑑賞を指定管理者が交代しても、実行できる環境整備に必要な仕組みづくり等をまとめます。小予算で実行できる制作の手法なども考案し、「芸術文化と生涯学習」をオペラ絵本から考察し、オペラ絵本の役割を明確にし、また、普遍性がある地域活性に役立つ生涯学習のひとつになるように致します。

IV. 「オペラ絵本」制作マニュアル（付属）

「オペラ絵本」制作マニュアル（簡略版）



執筆：加賀誠二

## はじめに

オペラ絵本を制作するにあたり、目的を達成するのだという同志を集う事が大切です。地域を変える三原則「ひと」、「もの」、「金」の「ひと」にあたります。事業は人と人の繋がりによって、お互いが助け合い、学び合い創り上げていく生涯学習です。オペラ絵本を制作する過程において、芸術家との協働作業など、未知な世界に突入し様々な困難があることと予め想定し、これまで学習してきた知識を出し合い、解決していくことが望ましいです。オペラ絵本を通して生涯学習を進める中で、指針がぶれることなく、目的意識をしっかりと持ち推進することで、オペラ絵本は完成し目的を達成できます。反省会では更に PDCA (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善)) を行い、継続可能な事業として地域に貢献していただけますことを願って、簡略版ながら「オペラ絵本」制作マニュアルと致します。

### 1) 発起人は妄想をする

- ・鑑賞対象者選択
- ・事業スタッフの確定…主旨に賛同し志を同じにする仲間を集う
- ・事業計画書の作成 (活動計画に練習計画も含む)
- ・収支予算書の作成 (制作費の算出には<参考ホームページ>第 4 条の別表 2 を参考にしました) <参考ホームページ>「公益財団法人みらい芸術・文化基金助成金交付要綱」

<http://www.mirai-geibunkikin.jp/m4.html>

### 2) 一緒に学習をする仲間を集う

- ・第 1 回制作会議 (ネットワークのフェースブックを使った会議を並行)
- ・民話決定
- ・民話の調査員 (学識者、学芸員の協力) 打診 (謝金の交渉を含む)
- ・台本作家決定 (原稿料の交渉を含む)
- ・演奏者打診 (出演料の交渉を含む)
- ・作曲家決定 (作曲料の交渉を含む)
- ・絵本をつくるイラストレーター決定 (デザイン料、データ料の交渉を含む)
- ・読み聞かせを担う方…読み聞かせボランティアの方を図書館からご紹介いただく。
- ・助成金を視野に入れる場合はこの時点で考える。(開催地のまちづくり助成等も探す)
- ・本番会場打診…施設使用料がわかる。(仮予約できる場合は仮予約を団体名で行う)

### 3) 生涯学習施設との連携を模索する

- ・第 2 回制作会議 (事業概要案の作成)
- ・施設の協力…事業概要を片手に、施設長に相談してみる。施設が自主事業として主催や共催または後援していただける場合もある。



#### 4) 各分野の学習成果を妥協なく確認する

- ・第3回制作会議（事業概要確定）
- ・台本初稿完成…出来上がった台本を読み合わせし、添削を行った後、学識者に確認していただく。
- ・読み聞かせを担う方…完成した台本を渡す。
- ・作曲完成…楽譜とカラオケ音源を視聴し、曲ごとの分数を計測する。台本を読み合わせしながら曲を確認する。変更が無くなるまで作曲家とこの作業を繰り返す。
- ・演奏者に完成した楽譜を送付（オペラ歌手、ピアノニスト、他楽器演奏者等）
- ・絵本挿絵完成…台本を読み合わせし、絵の表現を確認する。変更がなくなるまでこの作業を繰り返す。
- ・台本・曲・絵本挿絵を総合的に確認し、絵本のページ数を確認する。

#### 5) 学習発表にあたり技術系の専門知識を学ぶ

- ・第4回制作会議（台本印刷数・楽譜印刷数・絵本印刷数・フライヤー印刷枚数の確認）
- ・フライヤー初稿…参加者すべてに名前の確認をしてもらおう。ここが大事！確認が取れたら印刷業者に発注する。
- ・台本、曲、絵本挿絵の変更がなければ、印刷会社に印刷を発注する。印刷部数が少ない場合や、予算が少ない場合はカラーコピー機で印刷する方が安上がりになる。
- ・曲はカラオケ CD を CD-R 等で製作するとよいです。
- ・パソコン（ソフト／パワーポイント）…イラストレーターから頂いた絵本データをあらかじめ「gif」形式の画像に変換し、パワーポイントに貼り付ける作業を行う。
- ・試写…プロジェクターとパソコンを接続し、パワーポイントで投影し確認作業を行う。
- ・簡易 PA…YAMAHA ステージパスというアンプとミキサーを内蔵したスピーカが便利ですが、会場が小さい、あるいは良く響く場所では音響設備は不要です。

#### 6) これまでの学習を振り返り PDCA を行う

- ・第5回制作会議（PDCA を行う。予算の確認）
- ・フライヤー完成…配布する。
- ・広報、無料配布紙、マスメディアに宣伝をお願いする。
- ・会場費の支払い（本申請を行う）
- ・読み聞かせを担う方、演奏者、スライド担当者、台本作家、作曲家、イラストレーターと一緒に立ち会い、合同練習を最低でも1日行う。
- ・変更箇所を確認し、すでに印刷したものに関しては、訂正文を作成する。

#### 7) 学習成果発表の準備

- ・第6回制作会議（当日のプログラム確定、オリジナルグッズ確定）

- ・オリジナル販促グッズの発注
- ・当日のタイムスケジュール作成
- ・各スタッフにタイムスケジュール配布
- ・使用備品の確認

8) この学習を継続する為の PDCA を行う

- ・第7回制作会議（本番前の最終会議）
- ・打ち上げ（懇親会&反省会）

9) 生涯学習成果と課題をまとめる

- ・第8回制作会議（報告書作成）

平成 29 年 7 月 5 日

執筆：加賀誠二